専門職大学基本計画　中間報告

第４回基本計画検討委員会反映後

１　専門職大学の名称

「東北」、「農林」、「専門職」の３要素を含む名称とする。

※名称を「**東北農林専門職大学**(仮称)」に決定

【考え方】

①本県のみならず、東北を代表し、我が国の農林業を牽引する高度人材を育成する、②対象となる産業分野を端的に表す、③名称中に「専門職大学」という文字を用いなければならない（専門職大学設置基準第54条）、を踏まえた名称とする。

２　学部・学科構成、入学定員・編入学定員、学位の名称

（１）学部

大学の規模等に鑑み<u>１学部</u>とし、農林業経営者（スーパートップランナー）の卵を育成する教育組織であることを端的に表す観点から、<u>「農林業経営学部」(仮称)</u>とする。

（２）学科

大学の特色を高校生に分かり易く伝えると同時に、出口（就農・就業）を意識した実践型のカリキュラムに重点を置く観点から、<u>「農業経営学科」(仮称)／「森林業経営学科」(仮称)の２学科</u>とする。

（３）入学定員・編入学定員

入学定員は全体で40名とし、学科毎の内訳は、現在の農林大学校入校生の、農業系（約８割）と林業系（約２割）の比を参考に設定する。

また、全体の収容定員は、従来検討していた定員（40名×4学年=160名）に、附属農林大学校からの内部進学枠を含む３年次編入学の定員を加えることとする。

	入学定員 （1年次）	編入学定員 （附属農林大からの内部進学を含む） （3年次）	収容定員 （4学年全体）
農業経営学科	32名	若干名	128名＋α
森林業経営学科	8名	若干名	32名＋α
合　計	40名	若干名	160名＋α

（４）学位の名称

学位の名称については、学科毎に対象となる産業分野の名を冠して設定する。

農業学士（専門職）（仮称）／森林業学士（専門職）（仮称）

３　大学の「三つの基本方針」について

専門職大学において定めなければならない、教育活動の３つの基本方針（ポリシー）の主な内容は、以下の方向で検討する。詳細は別紙１のとおり。

学位授与の方針≒基本構想（ディプロマ・ポリシー）	・ 東北･山形の農業経営又は森林業経営が立脚する地域、自然環境等の特性を理解し、その基礎の上に国内外のマーケットを見据えた農業経営又は森林業経営を実践していく心構えがある。(**グローバル**) ・ 農業又は森林業の分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力を有するとともに多様性などを理解し多面的に物事を考える素養を有している。(**高度人材**) ・ 農山村地域が抱える諸課題の解決に向け、地域の農業像又は森林業像について農業又は森林業関係者と真摯に議論を交わすこと等ができる。(**地域リーダー**)
教育課程の編成及び実施の方針≒基本構想を踏まえたカリキュラム編成方針（カリキュラム・ポリシー）	・ グローバルな視野を持った農業又は森林業経営者の育成につなげる観点から、「読む、書く、聞く、話す」の4つの英語技能を身に付けることができる学びに加え、国際的な農業又は森林業事情について学べるよう編成する。(**英語力**) ・ 地域社会のリーダーとしてこれからの農山村を支えてもらう観点から、農山村を舞台としたフィールドワークの講義･演習を行う。(**地域課題の解決**) ・ 農業については、作物･園芸･畜産のいずれかの単作経営のみならず、複合経営による農業経営者を育成する観点から、各分野の営農実態について理解できるよう、1年生でこれらの生産理論及び防疫理論を幅広く学べる構成として職業専門科目をする。(**複合経営にも対応**) ・ 森林業については、「伐って、植えて、育てる」森林の循環利用を図る経営管理の理論や、産出する木材をはじめとする森林資源の利活用に関する理論について、幅広く学べるよう職業専門科目を編成する。(**やまがた森林ノミクス**)
学生受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	・ 国際的な視座に立って、地域の農業又は森林業･農山村が抱える課題に向き合う意欲がある人。 ・ 地域の農業又は森林業･農山村が抱える課題解決や新たな価値の創造に取り組むために、従来の常識にとらわれない柔軟な思考力を備えている人。 ・ 農業又は森林業に高い関心を持ち、農業又は森林業や経営の中核となり、農業又は森林業の発展に貢献する意欲がある人。

４　カリキュラム編成

「教育課程の編成及び実施の方針」を踏まえ、専門職大学設置基準に定められた分野ごとにカリキュラムを編成する。

（１）単位数

基礎科目	職業専門科目		展開科目	総合科目	合計
22単位	87単位	講義･演習　44単位 実習　43単位 うち学外実習　25単位	20単位	4単位	133単位

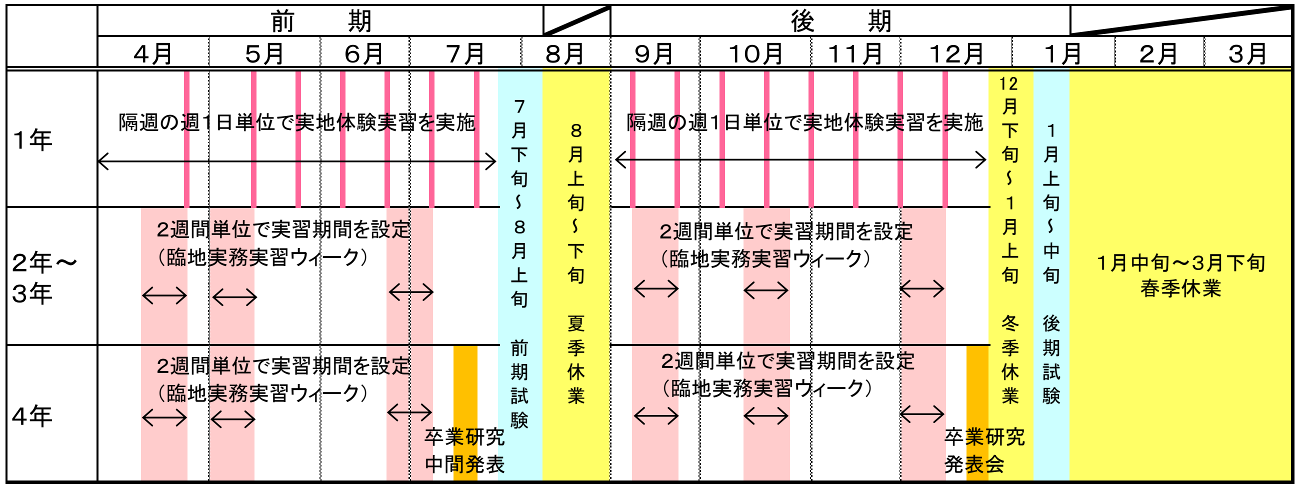
（２）カリキュラム

各学科のカリキュラムは別紙２・３のとおり。

（３）実地体験実習及び臨地実務実習の内容

- <u>実地体験実習</u>は、<u>１年生</u>に実施。<u>優れた経営体・事業体の下で幅広い農林業現場の実態を学ぶ</u>。
- <u>臨地実務実習</u>は、<u>２年生、３年生、４年生</u>に実施。<u>２年生は主に生産管理、３年生は主に経営管理、４年生は総合的な経営について学ぶ</u>。
- <u>臨地実務実習の時期は、山形の特徴的な農産物の栽培暦や、やまがた森林ノミクスを実現するために必要な森林施業が実施可能な適期を考慮</u>して<u>「臨地実務実習ウィーク」</u>（学事暦のピンク帯の時期）に設定（大学内の講義、演習、実習は、学事暦の白帯の時期に実施）。
- 学生は実習先と調整のうえ、<u>各学期の</u>「臨地実務実習ウィーク」（計30日間）の中から、<u>任意の計15日間を選択し、集中的に実施</u>。

（４）年間スケジュール（学事暦）



５　入試内容

「学生受入れの方針」を踏まえ、以下の入試内容を適切に組み合わせて実施する。

区分	一般選抜	総合型選抜	学校推薦型選抜 指定校推薦型選抜	特別選抜 （社会人、私費外国人留学生）
考え方	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持つ高校生等を幅広く対象とする。	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持ち、将来的に地域の農林業を牽引する高い意欲を持つ高校生等を幅広く対象とする。 （いわゆる「ＡＯ入試」）	専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持ち、将来的に地域の農林業を牽引する高い意欲を持ち、他の模範となる県内高校生を対象とする。	県内外を問わず、専門職大学卒業後に就農・就業する意思を持つ私費外国人留学生やリカレント教育を希望する社会人を幅広く対象とする。
選考方法	大学入学共通テスト（英、数Ⅰ・Ａ、理科から１科目、地理歴史及び公民から１科目の４科目）、面接、小論文	書類、面接、小論文	書類、訪問面接	書類、面接
人数	農業経営学科１０名 森林業経営学科　２名	農業経営学科１０名 森林業経営学科　２名 東北６県の高校出身者向けの優先枠を設けることを検討	農業経営学科１２名 森林業経営学科　４名 県内高校から推薦	農業経営学科　若干名 森林業経営学科　若干名 総合型選抜の内数

専門職大学の3つの基本方針(ポリシー)とこれらの対応関係

別紙1

ディプロマ・ポリシー (DP)

(1)東北、とりわけ山形の農業経営又は森林業経営が立脚する地域、自然環境等の特性について理解し、その基礎の上に、我が国はもとより、世界のマーケットを見据えた農業経営又は森林業経営を実践していく心構えがある。
(2)農業又は森林業の分野に留まらない知識、英語力を含むコミュニケーション能力を有するとともに、多様性などを理解し多面的に物事を考える能力がある。
(3)農業又は森林業の生産管理に関する知識や技術を有している。
(4)農業又は森林業の経営管理に関する知識や技術を有している。
(5)農業又は森林業を起点とした加工・販売など経営の多角化に資する知識や技術を有している。
(6)農業又は森林業と隣接する他分野の知識を活用することにより、農業又は森林業経営において、新たな事業展開を生み出すための手法を理解している。
(7)農山村地域が抱える諸課題の解決に向け、地域の農業像又は森林業像について農業又は森林業関係者と真摯に議論を交わすこと等ができる。
(8)修得した知識と技術を駆使して農業又は森林業経営の課題解決に必要な情報を収集・分析・整理するとともに、分析・整理した結果を表現できる能力を有している。

カリキュラム・ポリシー (CP)

カリキュラム・ポリシー (CP)	対応DP
【学科共通】(1)農業、森林業の各分野の経営体において、その中核を担うために必要な知識や、農山村の地域社会をリーダーとして支えていくために必要な知識等を身に付けるための科目群を、講義、演習、実習等を効果的に組み合わせて編成する。	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)
【学科共通】(2)農業、森林業別の科目と、分野横断的な共通の科目を適切に組み合わせて4年間の教育課程を編成する。	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)
【学科共通】(3)グローバルな視野を持った農業又は森林業経営者の育成につなげる観点から、「読む、書く、聞く、話す」の4つの英語技能を身に付けることができる学びに加え、国際的な農業又は森林業事情について学べるよう編成する。	(1) (2)
【学科共通】(4)地域社会のリーダーとしてこれからの農山村を支える観点から、本県の農山村を舞台にしたフィールドワーク(地域づくりのケーススタディ)の手法についての講義・演習を実施できるよう編成する。	(1) (2) (7) (8)
【学科共通】(5)展開科目については、学科や学年の枠を超えた学生同士の学び合いを通じ、既成の発想に囚われない自由な思考を促す講義・演習の実施が可能となるよう編成する。 また、学ぶ領域における基礎的な事項を理解したうえで、これを自ら応用できる素養を身につける観点から、それぞれの領域について、講義と演習をセットで履修する。	(1) (2) (3) (4) (5) (6)
【学科共通】各科目の成績評価方法については、シラバスにその具体的内容を記載するが、①講義及び演習については、学修内容を自己の言葉で他者に表現できる力を、②実習については、個別の実践内容の結果も含め、主体的に思考し、取り組む姿勢や過程を、それぞれ重点的に評価する。	(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)
【農業経営学科(仮称)】(1)作物・園芸・畜産のいずれかの単作経営のみならず、これらの複合経営による農業経営者を育成する観点から、各分野の営農実態について理解できるよう、1年生でこれらの生産理論及び防疫理論を幅広く学べる構成として職業専門科目を編成する。 (2)農業の専門性及び実践力を高めるため設ける実習科目については、理論と実践を架橋する観点と地域の農村、農業関係者との関係づくりに資する観点から、①1年生においては、作物・園芸・畜産の各分野における農業経営の実態について理解を深める体験実習を行うこととし、②2年生以降については、学生が将来経営したい分野の実践力を高められるよう、臨地実務実習を段階的・継続的に行うことができるよう編成する。	(3) (4) (5)
【森林業経営学科(仮称)】(1)「伐って、植えて、育てる」森林の循環利用を図る経営管理の理論や、産出する木材をはじめとする森林資源の利活用に関する理論について幅広く学べるよう職業専門科目を編成する。 (2)森林業の専門性及び実践力を高めるため設ける実習科目については、理論と実践を架橋する観点と地域の山村、森林業関係者との関係づくりに資する観点から、①1年生においては、造林・保育・伐採の各施業をはじめ、木材産業や非木材森林産品の生産、その他の森林生態系サービスを含む森林業経営の実態について理解を深める体験実習を行うこととし、②2年生以降については、学生が将来経営したい分野の実践力を高められるよう、臨地実務実習を段階的・継続的に行うことができるよう編成する。	(3) (4) (5)

アドミッション・ポリシー (AP)

アドミッション・ポリシー(AP)	対応CP
(1)農業又は森林業の生産技術や経営などを学ぶ上で必要な基礎学力と知識を身に付けている人	(1) (2) (6) (農) (林)
(2)論理的に思考し、表現できる人	(1) (3) (4) (5) (6) (農) (林)
(3)国際的な視座に立って、地域の農業又は森林業・農山村が抱える課題に向き合う意欲がある人	(3) (4) (6) (農) (林)
(4)地域の農業又は森林業・農山村が抱える課題解決や新たな価値の創造に取り組むために、従来の常識にとらわれない柔軟な思考力を備えている人	(4) (5) (6) (農) (林)
(5)農業又は森林業に高い関心を持ち、農業又は森林業や経営の中核となり、農業又は森林業の発展に貢献する意欲がある人	(1) (2) (4) (5) (6) (農) (林)

カリキュラムマップ（案）（農業経営学科(仮称)）

別紙2

<カリキュラムの概要>

1年
農業の分野全般にわたる講義・演習と実習等を通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める
↓
2年
自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学び等を深める
↓
3年
農業経営に必要となる経営管理の学び等を深める
↓
4年
これまで学んだ生産管理及び経営管理の学び等を総合化し、就農に備える

科目	1年 前期	単位	1年 後期	単位	2年 前期	単位	2年 後期	単位	3年 前期	単位	3年 後期	単位	4年 前期	単位	4年 後期	単位
基礎科目（22単位）	■地域等の特性（4単位）【DP1】															
	山形・東北の風土・伝統文化	2							哲学と東北	2						
	■コミュニケーション能力（8単位）【DP2】															
	（自由）英語基礎 コミュニケーション論	2 2	ビジネス英語Ⅰ	2	ビジネス英語Ⅱ（前期〜後期）	4										
	■一般教養（人間と自然・スポーツ・社会・情報）（10単位）【DP2】															
	情報基礎(実習)	1	SDGsと倫理	2	1単位を選択 情報応用(実習) スポーツ(実習)	 1 1										
			2単位を選択 気象・気候学概論 統計学	 2 2	2単位を選択 政治学概論 社会学概論 法律学概論	 2 2 2	経済学入門	2								
	（自由）生物学 （自由）化学 （自由）物理学	2 2 2														
職業専門科目（87単位）	■生産理論・技術（32単位）【DP3】															
	土壌・肥料学 農業概論 耕畜連携論	2 4 1	農業概論演習 植物病理学 家畜衛生学	2 2 2	（自由）家畜人工授精論	4	先端農業技術論	1								
					2単位を選択（前期〜後期） 栽培各論（稲作） 栽培各論（野菜・花き） 栽培各論（果樹） 飼育各論（畜産）	 2 2 2 2										
	圃場実習Ⅰ（前期〜後期）	8			8単位を選択（前期〜後期） 圃場実習Ⅱ（稲作） 圃場実習Ⅱ（野菜・花き） 圃場実習Ⅱ（果樹） 圃場実習Ⅱ（畜産）	 8 8 8 8										
	■経営全般（生産管理、経営管理等）（40単位）【DP1】【DP3】【DP4】															
							SDGsと農業・森林業	2	マーケティング論 組織マネジメント論 農業経済学	2 2 2	農業政策 農業経営分析・計画 税制・簿記論	2 2 1	簿記各論	1		
	農業実地体験実習（前期〜後期）	1			臨地実務実習Ⅰ（生産管理等）（前期〜後期）	8			臨地実務実習Ⅱ（経営管理等）（前期〜後期）	8			臨地実務実習Ⅲ（経営総合）（前期〜後期）	8		
									国際農業論	1	（自由）国際農業実習	4				
	■加工・販売（7単位）【DP5】															
					農業生産工程・食品衛生論	2	食品製造・販売	2	食品製造・販売実習（前期〜後期） 農業知的財産論	2 1						
	■地域課題解決能力（8単位）【DP1】【DP3】【DP7】				講義：2単位、演習：1単位、計3単位を選択											
					東北の稲作 → 東北の野菜・花き → 東北の果樹 → 東北の畜産 →	2 2 2 2	東北の稲作演習 東北の野菜・花き演習 東北の果樹演習 東北の畜産演習	1 1 1 1	農山村活性化論	1	農山村活性化論演習	4				
展開科目（20単位）	■応用的・創造的能力（20単位）【DP2】【DP6】		講義（1〜4年前期）：2単位、演習（1〜4年後期）：2単位 ※講義10単位と演習10単位を選択													
	デザイン論 デザイン論演習		金融学 金融学演習		発酵学・醸造学 発酵学・醸造学演習		建築学 建築学演習		社会福祉論 社会福祉論演習		栄養学 栄養学演習		山形・東北観光学 山形・東北観光学演習			
総合科目（4単位）	■総合的能力（4単位）【DP7】【DP8】															
													経営分析・計画演習（前期〜後期）	4		

卒業単位：133単位

※白色は必修科目、オレンジは選択科目、水色は自由科目（自由科目は卒業単位に含めない）

カリキュラムマップ（案）（森林業経営学科(仮称)）

別紙3

科目	教育課程															
	1年				2年				3年				4年			
	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位	前期	単位	後期	単位
基礎科目（22単位）	■地域等の特性（4単位）【DP1】															
	山形・東北の風土・伝統文化	2							哲学と東北	2						
	■コミュニケーション能力（8単位）【DP2】															
	(自由)英語基礎	2	ビジネス英語Ⅰ	2	ビジネス英語Ⅱ			4								
	コミュニケーション論	2														
	■一般教養（人間と自然・スポーツ・社会・情報）（10単位）【DP2】															
					1単位を選択											
	情報基礎(実習)	1	SDGsと倫理	2	情報応用(実習)	1										
					スポーツ(実習)	1										
			2単位を選択		2単位を選択											
			気象・気候学概論	2	政治学概論	2	経済学入門	2								
			統計学	2	社会学概論	2										
	(自由)生物学	2			法律学概論	2										
	(自由)化学	2														
	(自由)物理学	2														
職業専門科目（87単位）	■生産理論・技術（33単位）【DP3】															
	森林土壌・樹木学	2	非木材森林産品概論	1												
	造林学	2	森林生態系サービス概論	1												
	森林生産学	2	森林保護学	2	測量学	2	先端森林業技術論	1								
	森林労働安全衛生論	1	森林保全学	2	森林情報学	1										
	演習林実習Ⅰ			8	演習林実習Ⅱ			8								
	■経営全般（生産管理、経営管理等）（40単位）【DP1】【DP3】【DP4】															
									マーケティング論	2						
									組織マネジメント論	2	森林環境政策	2				
							SDGsと農業・森林業	2	森林経営管理学	2	森林業経営分析・計画	2				
											税制・簿記論	1	簿記各論	1		
	森林業実地体験実習			1	臨地実務実習Ⅰ（生産管理等）			8	臨地実務実習Ⅱ（経営管理等）			8	臨地実務実習Ⅲ（経営総合）			8
									国際森林業論	1	(自由)国際森林業実習	4				
	■加工・販売（6単位）【DP5】															
					木質科学概論	2	木材利用論	2	木材加工・販売実習			2				
	■地域課題解決能力（8単位）【DP1】【DP3】【DP7】				講義：2単位、演習：1単位、計3単位を選択											
					東北の森林経営管理	2	→ 東北の森林経営管理演習	1	農山村活性化論	1	農山村活性化論演習	4				
					東北の森林資源利活用	2	→ 東北の森林資源利活用演習	1								

展開科目（20単位）

■応用的・創造的能力（20単位）【DP2】【DP6】

講義（1～4年前期）：2単位、演習（1～4年後期）：2単位　※講義10単位と演習10単位を選択

デザイン論	デザイン論演習	金融学	金融学演習	発酵学・醸造学	発酵学・醸造学演習	建築学	建築学演習	社会福祉論	社会福祉論演習	栄養学	栄養学演習	山形・東北観光学	山形・東北観光学演習

総合科目（4単位）

■総合的能力（4単位）【DP7】【DP8】

4年	単位
経営分析・計画演習	4

＜カリキュラムの概要＞

1年
森林業の分野全般にわたる講義・演習と実習等を通じ、自分が将来的に経営したい分野への理解を深める
↓
2年
自らが将来経営の軸にしたい分野を中心とした生産管理の学び等を深める
↓
3年
森林業経営に必要となる経営管理の学び等を深める
↓
4年
これまで学んだ生産管理及び経営管理の学び等を総合化し、就業に備える

卒業単位：133単位

※白色は必修科目、オレンジは選択科目、水色は自由科目（自由科目は卒業単位に含めない）